



平成 24 年 11 月 30 日 第 2 卷(第 34 号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害対策本部 TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

## 目次

1. 現地支援活動報告
2. 現地感想文
3. 現地災害対策本部会議・  
議事録
4. 現地石巻 月間報告 (9 月)
5. 災害対策本部からのお知らせ
6. 事務所感想文



修復された、内海橋歩道。

— 現地石巻 photo —

## ●●●1. 現地支援活動報告

活動期間:2012年11月20日~11月22日  
荒木 千保子 (石川県 恵寿総合病院)

震災から1年8ヶ月も過ぎた頃になって、しかも3日間という短い期間を初参加ということで、現地のスタッフにはただ迷惑をかけるだけの参加になってしまいました。石巻の現状を目の当たりにし、支援活動に慣れるだけで精一杯で、本当に申し訳なかったと思います。しかしそんな私を、協会の担当者や一緒に働いている他のサポートチームの皆さんには温かく受け入れてもらえ、しかも彼らの日頃の頑張りに圧倒され、ただただ頭の下がる3日間でした。

1年8ヶ月も経った今だから感じられたことも沢山ありました。当初は同じ被災者であった方々にもどんどん格差が広がっています。自宅を再建できた方、自宅の修理もままならない方、仮設住宅の期限がきても行く当てのない方、まだまだ支援は必要です。また、支援活動の内容も大きく転換期を迎えていると感じました。個別対応に加えて、これまでのフォローの分析、それを基に今後のコミュニティの再編へと息の長い支援が必要だと痛感しました。

現地のスタッフには申し訳ありませんが、本当に貴重な体験をさせていただいたと思います。ありがとうございました。

### <参加を検討している方へのメッセージ>

現地に行かないと感ずることができないことが沢山あります。

被災から時間が経ったからこそ出てくる生活のニーズもあります。

「今頃・・・」と私も思いましたが、行ってよかったですと思います。遅すぎるということはないので、行動してください。



石ノ森萬画館再開 直後の様子

— 現地石巻 photo —

## ●●●2. 現地感想文

●●●11/21 依光 則子(現地担当)

石巻も秋の終わりが近づいています。

復興協議会の車は順々にスタッドレスタイヤに履き替え中。道が凍る前には済ませるとか。

協議会の活動は、在宅被災者アセスメントがいよいよ終盤を迎えています。在宅調査が終わっても、引き続きアセスメント員の皆さんによる見守り活動や、これまでの調査や専門職フォローの内容分析に基づく、住民を支える新しい枠組みの地域活動提案など、熱気あふれる活動が続きます。私たちソーシャルワーカーのフォロー活動も、やがて地元の方々に引き継ぐゴールを目指し、この冬も続きます。

当協会を利用中の車も、近々タイヤ交換です。

●●●11/24 小塚 満里子(秋田県成人病医療センター)

今回で3回目の協力員活動でした。

Ⅱ期調査チームプロジェクトの一端に参加させてもらい、改めてソーシャルワーカーへの期待が感じられました。地味な仕事でなかなか分かってもらえないことが、ここでは当たり前なのがうれしいです。スタッフの人たちとのアサーティブな関係も快かったです。石巻の人柄にも親しみを感じられたのは私自身が3回目だったことからくると思います。

参加させて頂きありがとうございました。

(活動期間:平成 24 年 11 月 16 日～11 月 22 日)

●●●11/24 荒木 千保子(石川県 恵寿総合病院)

初めての参加で、しかも 3 日間と非常に短期間の活動で、慣れるのが精いっぱい、現地協力員の方々に手間をかけるだけの活動になってしまったと本当に申し訳なく感じています。そんな中でもスタッフの皆さんは温かく迎えていただけ、訪問したお宅からも「皆さんのお蔭でがんばっています」とのお言葉をもらい、何もできない自分が情けない 3 日間でした。

目の当たりにした被災地の現状を、地元に戻って現状を自分の仲間たちに報告し、今後なんらかの協力につながれば、と思います。3 日間ありがとうございました。

(活動期間:平成 24 年 11 月 20 日～22 日)

●●●11/24 久保木 美由紀(現地担当)

この週末多くの協力員の方が来てくださり、孤立抽出がだいぶ進みました。

第 1 回目の渡波ミーティングに間に合いそうです。

多くの方の力があって石巻の支援が成り立っています。

●●●11/25 左右田 哲(神奈川県 北里大学病院)

現地スタッフの皆様の熱い働きに触れることが出来、とても感謝です。協会事務所スタッフとの連携もとてもスムーズな感じでした。そして何よりも、各地から集ってくるボランティアの方々の気持ちの豊かさには感動です。

今後も多職種、多機関との協働が必須ですから、ますます発展した活動を行い、被災者の方々や地域の復興に役立てれば、と実感しております。

皆様、本当にありがとうございました。

(活動期間:2012年11月23日~11月25日)

●●●11/25 市川 賀一(神奈川県 北里大学病院)

今回が協力員としては初めての石巻での活動でした。前回石巻に来てから、1年半ぶりとなります。

今回の活動を通して、当時とは比べ物にならないほど活気を取り戻していることに、人間の強さと、石巻の住民はもちろん各団体の方々の努力を感じました。しかし、その一方で、復興が遅々として進んでいないこと、被災者の皆さんにとって地震・津波は決して過去のものではないこと、1年半以上経過した今だからこそその新しい問題が生じているのだということを感じました。

多くのことを学び、考えさせられました。またこの町に戻ってこようと思います。

(活動期間:平成24年11月23日~11月25日)

●●●11/25 筒井 万紀子(神奈川県 戸塚共立リハビリテーション病院)

今回、2か月ぶりに石巻に来させて頂きました。

業務内容としては、在宅避難者世帯への訪問を行うことの他に、孤立マップの作成という作業も加わりました。

孤立マップの作成にあたり、ケースを一件一件読み直していくと、震災直後から復帰に向けて徐々に生活環境が変化していき、改めて、一人一人の抱えていらっしゃるニーズが変化していく様子を感じることが出来ました。また、商店街の方々との交流も図れ、被災直後からのお話を伺うことが出来とても貴重な体験をさせて頂きました。

一緒に活動して下さった皆さんもとても良い方々ばかりで、温かい気持ちになりました。ありがとうございました。

(活動期間:平成24年11月23日~25日)

## ●●●3. 第 10 回災害対策本部会議 議事録

**実施日** 2012 年 11 月 17 日(土)19:00～

**出席** 佐原・笹岡・篠原・飯島・山田・武山・久保木・梅崎・富永・三輪  
(敬称略・順不同)

**欠席** 坪田・東

### 1. 災害対策本部 事業全体について

#### (1) 財政面

- 臨時総会開会式について、石巻への請求書

臨時総会(予定)

日時:2013 年 3 月 17 日(日)14:00～

場所:石巻赤十字病院 会議室を ※12 月 9 日に決定

#### (2) 人事

- 職員

【現地】 責任者:久保木美由紀

依光則子

中辻康博(10 月 18 日退職)

富永千晶(平成 25 年 1 月 15 日～6 月ごろを予定)

【事務所】 三輪清子(12 月 20 日退職予定)

週 3 日のパート職員を募集

- 協力員

【現地】 ・今後も無制限で受入れ

・期間は原則として移動を含まず中 3 日以上(特に初回参加者は 3 日以上)

【事務所】 月～金 10 時～17 時

- 本部メンバーの現地入り予定

#### (3) 「医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ」について

- 11 月 2 日(金)打ち合わせ→次回打ち合わせは 12 月 16 日を予定。

・前は月ごとに追ったが、今回はトピックスごとに追う。

・形・大きさ等の掲載は変化なし。

・来年 5 月に発行予定。

#### (4) 年賀状または年始のご挨拶について

・寒中お見舞いを送付する人のリスト、寒中お見舞いのデザイン、文言→後日確認。



## 2. 事務所支援活動

### ● 広報

#### ① 災害支援ニュース

- ・現地から写真を送付していただき、現地の写真を増やした。
- ・「事務所のお知らせ」は後に持っていくなど、ニュースの掲載の順番を変えた。
- ・「恵み野団地だより」など、現地が協力している活動の紹介も掲載。

#### ② Facebook 「いいね」 87 人

#### ③ 書籍販売；東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン 1』

※ (11/16 現在) 在庫 2050 冊 (販売 600 冊・寄贈 350 冊)

※Amazon へのアップについて。

※ISBN の取得について→現在、申請中。

## 3. 現地支援活動

### ● 【久保木より】

① 月報・市報告書 (現地石巻の月間報告 9 月)。

#### ② グループ支援について

グループを活用した援助の提案。

#### ③ 石巻市健康推進課からの依頼：

- ・現地でかかわったケースの報告→1 期分 2 期分を現地スタッフ依光が作成中。
- ・来年度以降、報告の形式が変化→報告の掲載方法を現地で検討。
- ・支援のケース(3 名)をグループ支援に組み込んでほしい。

#### ④ ケース検討会

日にち：11 月 28 日

場 所：開成仮診療所

参加者：看護師、看護師長など 20 名ほど参加予定 (幅広く多くの人に参加してくれる)

#### ⑤ 現地からのお願い

- ・復興協議会で孤立マップを作成。
- ・孤立の人々をクラウドからピックアップ(決定した孤立の定義に該当する人をピックアップ) →その作業は現地だけでは難しいので、本部事務所の協力を依頼する可能性有。

●【笹岡より】

①グループ支援を成功へ

- ※市への報告の仕方：
- ・グループ支援の定期的開催。
  - ・計画書、図式化、サマリー等チームで分担し書類を作成。
  - ・成功事例の強調。
  - ・学会での発表。

※3年目に突入するとき、日本協会に期待されているということは確実だが、どのように動くべきかについては、議論の余地あり。

②CSC：社協・包括などが一つになり地域のニーズを解決するという計画が進んでいる。CSCにスーパーバイザーとして協会からもSWを派遣するよう依頼がある可能性あり。

③渡波（わたのは）地域包括ケアモデル

ネクストステップ(フォロー)での議論から。

→地域包括ケアが必要。

→市へあげた結果、渡波でモデルとして実施を試みるという事になった。

→今後、民生委員等の関係機関を巻き込んで実施予定。

④3月17日臨時総会前に3月11日の記念シンポジウム開催(未定)

→12月9日に開催するか否かを決定

⑤市長に表敬訪問を行う予定

## 4. その他

●都協会主催の被災地訪問ツアーのご案内

日にち：2012年12月8日(土)～9日(日)

内容：「被災地のアスベスト問題」を考える・被災地訪問ツアー(仙台石巻へ)

主宰：東京都医療社会事業協会、震災支援対策委員会

※参加者募集中

## 5. 次回予定

●12月以降の予定 12月16日(日)10時半～

## ●●●4. 現地石巻の月間報告(9月)～石巻市長への定期報告～

### (1) 月報

平成 24 年 11 月 1 日

石巻市長 殿

公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
会長：佐原 まち子 印

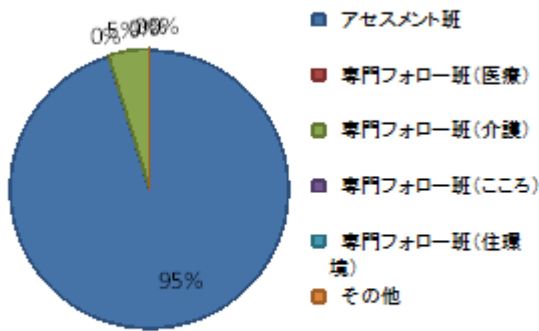
#### 石巻市「社会福祉士等相談支援事業」実施報告書（9月）

報告期間	平成 24 年 9 月 1 日 ～ 平成 24 年 9 月 30 日
相談担当者	MSW延べ 91名 (調整・連絡・記録 50件、電話 136件、訪問(利用者84、他機関24)108件、協議1件、文書0件)
広報	■市保健福祉課、被災者支援課、福祉総務課ほか挨拶
協働	<p>■健康・生活復興協議会 在宅被災者支援アセス後フォロー訪問 医療健康ユニット 1, 2期調査フォロー(協議会内でのフォロー班との協働ケース 地域の社会資源との協働ケース) RCI 内部全体報告会(9/3、25)、外部向け状況報告会(9/11) ネクスト・ステップ準備室会議参加(毎週火・金) 医療・健康ユニット会議参加(毎週火)</p> <p>■河南支所管内仮設団地ケース検討会参加(9/18)</p> <p>■医療実務者連携ネットワーク会議(9/25)</p> <p>■石巻復興支援協議会会議参加(9/6、27)</p>
相談内容及び対応	<p>■在宅被災者支援 ①震災による問題が大きいケース 事業再建中に、世帯主の病気が発覚し生活困窮に陥ったケース 住宅未改修のまま2階で生活し、立ち退き、引越に目途がつかないケース 震災により妻と娘を失った夫への心理的支援ケース ②震災前からの問題や震災により問題が表面化したケース アルコール問題を抱え、通院中断しているケース 高次脳機能障害の母を介護する夫と娘への介護負担が大きいケース 引きこもりの息子と高齢母2人世帯。息子への外部との交流支援ケース</p> <p>■病院 MSW 後方支援 退院後の生活支援のために介入依頼。</p>
茶話会・イベント、相談会の内容、対象	<p>■恵み野団地 訪問支援員とお茶っこ開催準備、声掛けの協働(社協コーディネーター、主任、訪問支援員も参加有) 役員会開催準備支援、団地だより打合せ</p> <p>■お茶っこ参加</p>
特記事項	■事例検討会ミーティング(市内医療ソーシャルワーカー対象)9/19、25参加

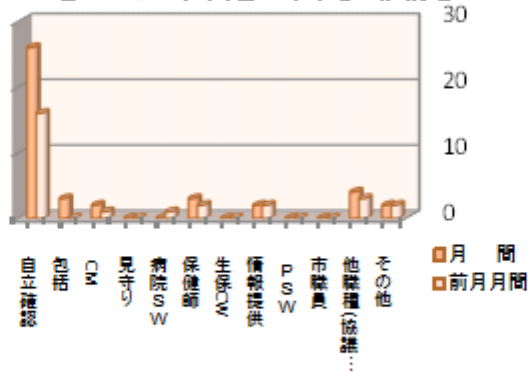


(2) グラフ

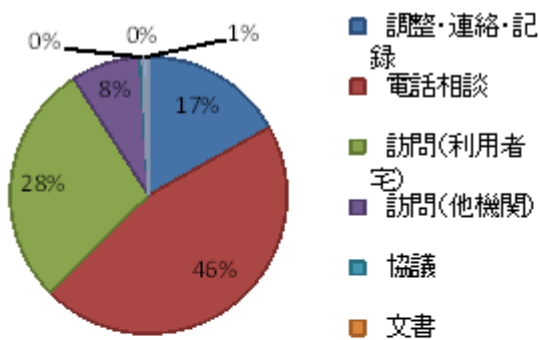
①-2 新規 依頼経路



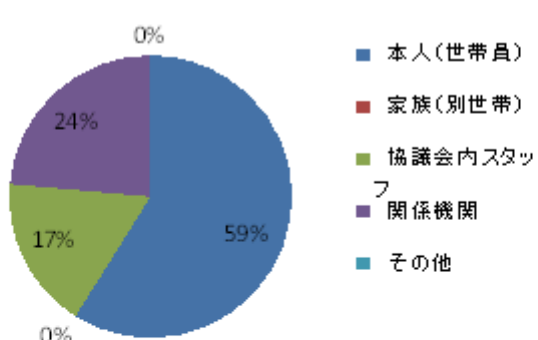
①-3 終結 終了状況



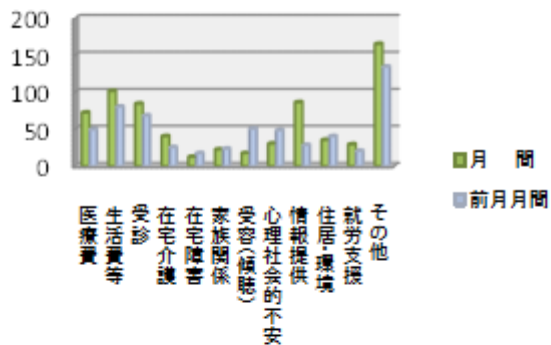
④-1 個別援助 方法



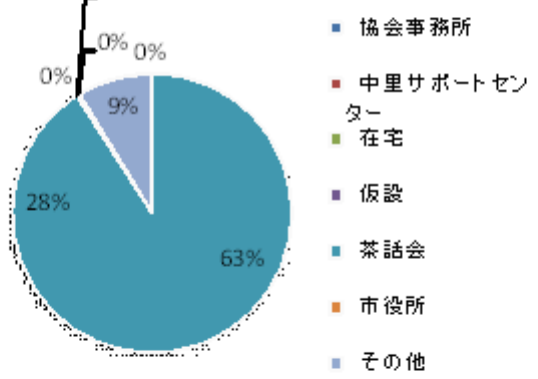
④-2 個別援助 対象



④-3 個別援助 内容



⑤ 活動場所



## ●●●5. 災害対策本部からのお知らせ

### 【1.協力員募集】

#### ●●●現 地

現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。

中 3 日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

\*\*\*12月もまだまだご応募いただけます。ご都合の付く方、ご協力をお待ちしております！

#### ●●●事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが1～2ヶ月に1回でも構いません。ご協力をお願い致します。

### 【2.災害対策本部会議】

11月17日(土)に実施いたしました。「3.議事録」をご参照ください。

次回は12月16日(日)10:30～協会事務所にて開催します。

### 【3.書籍販売】

『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン 1』の販売を行っています。

発災から昨年9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。



●●●注文用紙はホームページからダウンロードできます。

[http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=45](http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45)

## 【4.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

●●● URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

## 【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



●●● URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

## 【6.現地・事務所職員募集】

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。  
災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。  
または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

### ●●●①現地常駐者(短期契約職員)

- ・就業場所:宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間:9~17時  
※業務の関係で残業あり。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000 円/月
- ・通勤費実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇。月単位でも応相談。

### ●●●②災害対策本部事務所担当(パート職員)

- ・就業場所:協会事務局内
- ・就業時間:週3日程度 10~17時  
※業務の関係で残業あり。  
※頻度・時間は応相談。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900 円~ 通勤費は実費支給
- ・経験不問。医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送りください。面接にて決定させていただきます。  
または災害対策本部までお気軽にお問い合わせください。

### ●●●お問い合わせ

住所: 〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル  
電話: 03-5366-1057  
担当: 笹岡・中川

## ●●●6. 事務所感想文

寒く忙しい年末がやってきましたが、12月も活動に参加して下さる協力員の方がいらっしゃるの、本当に感謝です。

先週末の3連休にもたくさんの協力員の方が現地に向かい、300ケースの孤立ケースの抽出という大仕事を現地スタッフとともに成し遂げて下さったと聞いています。

そんな話を聞くと、事務所も頑張らなくては、とまた思いが新たになりますね。

11/26 災害対策本部事務所 三輪 清子

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース  
平成24年11月30日 第2巻34号  
作成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会



上毛カルタ：㊦んとう（関東）と信越つなぐ 高崎市

（群馬県高崎市 JR高崎駅にて）